



限りある人材、他業種とシェア

第15回建設トップランナーフォーラム

建設業の複業化や新技術の開発に取り組み全国の建設会社でつくる建設トップランナー倶楽部（米田雅子代表幹事）は25日、第15回建設トップランナーフォーラムを開いた。今回のテーマは『地域の担い手をどう育てるか』。米田氏「写真」は地域建設業が担い手を確保するため、「限りある人材を業種を越えてシェアする、農業と建設業の多能工化、林業協働、建設と介護の複業など、これまで建設トップランナー倶楽部が推進してきた複業が先駆的意義を持つ」と強調した。

都内の会場で行われたフォーラムをオンラインで中継した。来賓として会場を訪れた赤羽一嘉国土交通相

は「地域防災や老朽化への対応、林業協働などの複業化による地方産業創出など、さまざまな取り組みに挑戦している」と心より敬意を表す」と述べ、「地域防災の担い手、インフラの守り手である地域の建設業が魅力にあふれ、誇りを持って仕事に打ち込めるよう、その環境整備を進める」と続けた。

野上浩太郎農林水産相は一担い手不足という共通の課題を持つ建設業と農林水産業がともに発展するためには、業種の垣根を越えた人材のシェアが重要な柱になる」とビデオメッセージを送り、建設トップランナー倶楽部の活動に期待を寄せた。

来賓として、太田昭宏衆院議員、石破茂衆院議員らも会場を訪れた。